

平成21年5月15日

各位

会社名 株式会社名村造船所
代表者名 代表取締役社長 名村 建彦
(コード番号 7014 大証 第1部)
問合せ先 取締役兼専務執行役員経営業務本部長
名村 建介
(TEL 06-6543-3561)

平成21年3月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の業績予想につきまして、平成21年2月12日に公表いたしました業績予想と実績の間に差異が生じたので、下表のとおりお知らせいたします。

1. 連結業績予想と実績の差異について

平成21年3月通期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(以降の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	121,000	5,400	5,400	2,700	55.98
今回実績(B)	122,144	6,618	5,731	2,977	61.72
増減額(B)-(A)	1,144	1,218	331	277	-
増減率(%)	0.9	22.6	6.1	10.3	-
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	109,639	9,700	9,640	5,814	120.54

2. 単体業績予想と実績の差異について

平成21年3月通期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	99,000	3,300	3,700	1,600	33.15
今回実績(B)	98,673	4,568	4,926	2,752	57.02
増減額(B)-(A)	327	1,268	1,226	1,152	-
増減率(%)	0.3	38.4	33.1	72.0	-
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	84,831	8,657	8,779	5,347	110.79

3. 差異の理由

通期業績予想と実績の間に差異が生じた主な理由は、連結財務諸表提出会社(当社)の単体実績が業績予想よりも改善したことによるものであります。

リーマン・ショックを受け、当第3四半期において、平成21年1月及び2月前半の為替相場推移を踏まえて収益予想レートを1米ドル当たり90円に修正しておりましたが、2月下旬から当連結会計年度末にかけて予想レートより円安水準で推移した結果、当社において年度末に引当てることを想定しておりました受注工事損失引当金が減少したことや、コスト削減ならびに生産性改善運動等により、営業利益、経常利益が大幅に改善したものであります。さらに、当期純利益についても見込んでおりました投資有価証券評価損の減少や課税負担額の軽減等により、大幅に改善いたしました。

一方、通期連結業績実績においては、営業外費用として船舶保有目的海外連結子会社の円建借入金に関わる外貨換算差損等が替関連損失を987百万円、特別損失として連結子会社が保有する投資有価証券の売却損や評価損など500百万円を計上したこと等により、連結業績実績の改善幅は限定的なものとなっております。

以上